

平成29年度第1回農薬使用時安全性検討会 議事要旨

1. 日時：平成29年7月7日（金）13：50～15：20
2. 場所：独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部 会議室
3. 出席：赤堀委員、櫻井委員（座長）、関田委員、三瀬委員（五十音順）
（事務局）：独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部

ピラジフルミド及びフマル酸の農薬使用時安全性の検討を議題として開催された。その要旨は次のとおりである。

議題1 ピラジフルミドについて

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙1の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

議題2 フマル酸について

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙2の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

その他

次回日程について

次回の農薬使用時安全性検討会は、平成29年11月上旬に独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部会議室にて開催することが提案された。

（照会先）農薬検査部毒性検査課 土井、大森、齊藤

電話：050-3797-1868

○ピラジフルミド

(総合評価) 使用上の注意事項

ピラジフルミド 20.0 %フロアブル (パレード 20 フロアブル)

- (1) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (2) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

ピラジフルミド 20.0 %フロアブル (ディサイドフロアブル)

- (1) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (2) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (4) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

ピラジフルミド 15.0 %フロアブル

- (1) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (2) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

○ フマル酸

(総合評価) 使用上の注意事項

フマル酸 80.0 %水和剤

- (1) 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので、散布液調製時及び散布の際は不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。